

## 【徳山地区】

### 市長と語ろう！もやいミーティング概要

- 1 日時 平成25年11月30日（土） 14:00～15:30
- 2 場所 徳山保健センター
- 3 参加者数 54名
- 4 出席者 市長 木村 健一郎  
副市長 青木 龍一  
企画総務部長 住田 英昭  
行政改革推進室長 久村 信幸

### 5 会議録

#### （徳山 - 01：市陸上競技場）

Q) 市陸上競技場は（日本陸上競技連盟の3種以上の）公認を取得しておらず、県レベルにおいても、県東部で公認されている競技場がないため、大きな大会の開催が県西部に偏っている。ぜひ、公認を取ってほしい。

市長) 各種団体の要望をとりまとめて提出された体育協会の要望書においても上位の要望事項で、現状は認識している。周南緑地の公園整備を進める中で検討していきたい。

#### （徳山 - 02：住民票等の申請受付及び交付）

Q) 毎週火・木曜日の市民課窓口の時間延長や特定の郵便局での申請受付等で、以前より便利になっていることは評価するが、市民としては「取りたいときに、いつでも取れる」という環境づくりをお願いしたい。駅ビルの2階や図書館等に住民票等各種証明書の自動交付機の設置はできないか。

市長) 身近なところで取れるようにすべきと考えているが、公文書であるため、どのような形ですべきか、コストやニーズ等を含め調査・検討したい。

#### （徳山 - 03：住居表示）

Q) 東辻地区の住居表示をお願いしたい。

市長) 地元から声をあげていただきたい。方法は、後日関係課より回答する。

#### 【市民課】

発言者の方と日程調整をし、住居表示を行う際の手続きを説明する。

(徳山 - 04 : 市の名称)

Q) 「徳山市」という名称に戻してはどうか。

市長) 「周南市」という名称は、10年前、意識調査を実施し市民の皆さんで決めたもの。過去を遡れば、徳山も以前は野上の庄という名称であった。「周南市」として新しい歴史を築きたいと考えている。ただし、皆さんからの声が大きくなれば、正規の手続きを踏んだ上での名称変更は可能。

(徳山 - 05 : 生活保護世帯の増加への対策)

Q) 生活保護世帯の増加への対策は。

市長) まちづくりのキーワードは「自立」。自助・共助を基本に、最後はしっかり公助として行政で支えていく。生活保護世帯の増加は、経済の問題と捉えている。人口減少により税収減が見込まれるが、港とコンビナート強化に力を入れ、富の創出を図りたい。

(徳山 - 06 : 市職員のボランティア)

Q) 我々は、ボランティアで市民活動をしているが、本日のような会議に出席している職員はボランティアなのか。

市長) 本日は、職務として出席している。仕事に対する対価はきちんと支払うことがルール。ただし、市職員も一市民として、積極的に地域に入りボランティア活動に取り組むことを推進している。

(徳山 - 07 : 市職員の給料)

Q) 市職員の給料を、市内で使える商品券で支給し、少しでも地域に還元する等検討できないか。

市長) 職員の給料としてではなく、経済の活性化につながる仕組みづくりの中で何らかの対策を考えたい。

(徳山 - 08 : 中心市街地活性化)

Q) 中心市街地の空き店舗対策として、株式会社まちあいにも多額の補助金が出ている。補助金を利用してオープンしたが、既に閉鎖している店舗も見受けられる。そのような現状をどう考えているのか。

市長) 銀南街はすべての店舗が埋まったが、他はまだ多くの空き店舗があるのが現状。出店を後押しする意味でも補助金は必要と考えている。効果的に活用し、無駄のないように取り組みたい。

(徳山 - 09 : 徳山駅前整備)

Q) 駅西側の駐輪場は無くなるのか。

副市長) 現段階では、駅の東側に整備予定であるが、今後設計を進める中で決定する。

(徳山 - 10 : 中央図書館の位置付け)

Q) (仮称) 新徳山駅ビルに図書館が作られ、中央図書館は無くなるのか。

市長) 文化の拠点として、中央図書館は大切。(仮称) 新徳山駅ビルの構想は、既存の図書館にプラスして、カジュアルに多くの人を楽しめる施設をということで検討している。

(徳山 - 11 : 市民館等の解体)

Q) 市民館・勤労福祉センターの解体案が出ているが、代替施設はあるのか。

市長) ニーズや利用状況など様々な調査を行いながら決定したい。施設が無くなるから代替施設というよりは、様々な手法を検討しながら進めたい。

(徳山 - 12 : 地域懇談会への市議会議員の参加)

Q) 市議会議員も、この会議に参加すべきではないか。

市長) 議会は、独自で市民の意見を聞く場を設けている。今日は、市長が市民と語る場として開催している。議員とは、議会の場で議論したい。

(徳山 - 13 : 地区の要望)

Q) 昨年、新堀地区に係る9項目の要望書を提出した。自助・共助は終わっており、残るのは公助のみである。

市長) 要望を踏まえ、関係部署において検討している。

(徳山 - 14 : 小学校の空き教室の開放)

Q) 小学校の空き教室を市民に開放できないか。

市長) これから公共施設の再配置を考える中で、そのような案が市民の皆さんから出ることを期待している。

(徳山 - 15 : 幼稚園の統廃合)

Q) 幼稚園の統廃合について聞きたい。

市長) 就学前児童通園施設の今後の在り方は、国の動向を踏まえ、平成27年4月に向け計画策定の準備をしている。大きな考え方では、民間でできることは可能な限り民間で行いたいと考えている。

副市長) 平成22年に策定した「就学前児童通園施設の今後の在り方」では、都市地域では民間活力を活用した施設運営、中山間地域では公共施設という基本的な考え方を出している。これに基づき、今年の8月、議会に対し、保育園では、第一段階として、福川・若山保育園を統合し若山保育園へ、第二段階では、公立幼稚園の跡地を利用し、第一・飯島保育園を統合すると説明している。また、公立幼稚園は、今宿・楠木・周栄・富田西幼稚園を27年3月末に廃園し、跡地は、保育所などへの活用を考えている。桜田・夜市・湯野幼稚園は、27年4月から桜田幼稚園に統合し、併せて3歳児保育の開始という基本方針案を説明している。

(徳山 - 16 : 公共施設再配置計画)

Q) 市民一人当たりの面積が全国平均より大きいとのことであるが、単純な面積の比較では測れない部分もあるので、詳細な分析の上検討を。ハコモノを作る、廃止するだけではなく、16分類を超えた多目的な利用の検討・融通という対応も考えられることから、民間施設の活用も含め、30年後維持費のかからない方法で対策を立ててほしい。また、計画を作ってもトップが変わった場合、どうなるのか心配である。

市長) 市民一人あたりの面積比較はイメージを伝えるもので、緻密な分析は必要と考えている。再配置計画策定のための基本方針案は、パブリックコメントを実施しているので、参加いただきたい。

副市長) 分類を超えた多目的利用及び民間施設の活用は大変重要な考え方であるので、そういった観点も含め議論していきたい。また、計画の変更も、十分な議論を行い、市民参画、必要であれば議会の議決という手続きを踏んだ上での変更は有り得る。

# 要約一覧

## 徳山地区

管理 NO	内容	担当		質問	回答
徳山-01	市陸上競技場	文化スポーツ課	公園花とみどり課	市陸上競技場は(日本陸上競技連盟の3種以上の)公認施設ではないため、公認取得を。	周南緑地の公園整備を進める中で検討していきたい。
徳山-02	住民票等の申請受付及び交付	市民課		住民票等各種証明書がいつでも取得できるよう、駅ビル・図書館等に自動交付機の設置はできないか。	公文書であるため、どのような形にすべきか、コスト、ニーズ等を含め調査し検討したい。
徳山-03	住居表示	市民課		東辻地区の住居表示をお願いしたい。	地元から声をあげていただきたい。方法は、後日関係課より回答する。 <b>【後日、担当課回答】</b> 発言者の方と日程調整をし、住居表示を行う際の手続きを説明する。
徳山-04	市の名称	総務課		「徳山市」という名称に戻してはどうか。	「周南市」として新しい歴史を築きたい。ただし、市民の声が大きくなれば、正規の手続きを踏んだ上での名称変更は可能。
徳山-05	生活保護世帯の増加への対策	生活支援課		生活保護世帯増加への対策は。	生活保護世帯の増加は、経済の問題と捉えている。港とコンビナート強化に力を入れ、富の創出を図っていきたい。
徳山-06	市職員のボランティア	人事課		本日の会議の担当職員はボランティアか。	職務として出席している。ただし、市職員も一市民として、積極的に地域に入りボランティア活動に取り組むことを推進している。
徳山-07	市職員の給料	人事課	商工振興課	市職員の給料を、市内で使える商品券で支給し、地域に還元することを検討できないか。	職員の給料としてではなく、経済の活性化につながる仕組みづくりの中で対策を考えたい。
徳山-08	中心市街地活性化	中心市街地整備課		中心市街地の空き店舗対策の補助金を活用してオープンした店が、閉鎖したケースがある。現状をどう考えているのか。	出店を後押しする意味でも補助金は必要。効果的かつ無駄のないように取り組みたい。

管理 NO	内容	担当			質問	回答
徳山-09	徳山駅前整備	中心市街地整備課			駅西側の駐輪場は無くなるのか。	現段階では、駅の東側に整備予定であるが、今後設計を進める中で決定する。
徳山-10	中央図書館の位置付け	中心市街地整備課	中央図書館		(仮称)新徳山駅ビルに図書館を作り、中央図書館は無くなるのか。	文化の拠点として、中央図書館は大切。(仮称)新徳山駅ビル構想は、既存の図書館に加え、カジュアルに多くの人が楽しめる施設として検討している。
徳山-11	市民館等の解体	総務課	文化スポーツ課	商工振興課	市民館・勤労福祉センターの解体案が出ているが、代替施設を考えているか。	様々な調査を行い決定したい。施設が無くなるから、代替施設というよりは、様々な手法を検討したい。
徳山-12	地域懇談会への市議会議員の参加	政策企画課			市議会議員も、この会議に参加すべきでは。	議会は独自で市民の意見を聞く場を設けている。議員の皆さんとは、議会の場で議論したい。
徳山-13	地区の要望	政策企画課			昨年、新堀地区に係る9項目の要望書を提出したが、その後の状況は。	要望を踏まえ、関係部署において検討している。
徳山-14	小学校の空き教室の開放	行政改革推進室	教育政策課		小学校の空き教室を開放できないか。	公共施設の再配置を考える中で、そのような案が市民の皆さんから出ることを期待している。
徳山-15	幼稚園の統廃合	行政改革推進室	教育政策課		幼稚園の統廃合について聞きたい。	国の動向を踏まえ、平成27年4月の計画策定に向けて準備中。民間でできることは可能な限り民間で行っていきたい。
徳山-16	公共施設再配置計画	行政改革推進室			公共施設再配置計画は多目的利用・融通・民間施設の活用も含め考えるべき。市長が変わった際に計画が継続されるかも心配。	そのような観点も含め議論したい。計画は手続きを踏んで変更することは有り得る。